

最新の 16 列マルチスライス X 線 CT を導入しています。

最も多くの情報を短時間で確認出来る重要な検査機器です。

富士フイルムヘルスケア(旧日立製作所)16 列マルチスライス X 線 CT(以下、CT に略)で最小撮影幅は 0.675mm となっており、1mm 以下のとても小さな病変でも検出可能です。「精密に・速く・きれいに」の超高速撮影が可能となり、検査時間が短く、胸の検査も高精細で、約 10 秒強の息止めで検査できます。

最新技術で X 線被ばくを抑え、病変の早期発見さらに早期治療により患者様に貢献致します。



検査時間は約 5 分です。静かで、体内にボルトやペースメーカーが入っていても検査可能です。CT は今では最も多くの情報を短時間で確認出来る重要な検査機器です。脳の疾患(脳梗塞、出血、腫瘍など)、胸部疾患(肺気腫、自然気胸、肺癌、乳癌など)の確認、腹部疾患(胃・大腸・肝臓・膵臓・胆管・胆のう・腎臓・尿管・膀胱・子宮・卵巣などの癌、結石、炎症など)の確認、骨系疾患(骨の変形、骨折、骨腫瘍など)の確認など多岐に渡っております。当院では健診受診後の精密検査として多く利用され威力を発揮しています。

2019 年に国立がん研究センターが発表した全国の「がん」の部位別死亡数(男女計)の第 1 位:肺、以下第 5 位まで大腸・胃・膵臓・肝臓の順となっています。

お腹のがんの発見には、内視鏡検査や超音波検査も有用ですが、お腹のがんや病気が CT で偶発的に見つかることも決して少なくないです。また、肺にできた小さな病変(癌や間質性肺炎など)も見つけることができる CT 検査は、定期健診の際に加えて受けて頂くこともよいかと考えます。

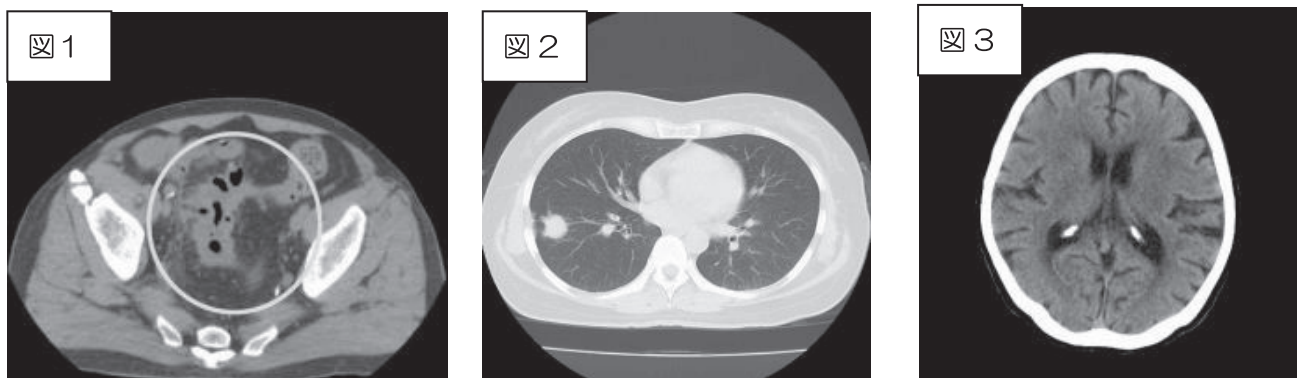


図1は腹部 CT で大腸がん疑い、図2は胸部 CT で肺がん疑い、図3は頭部 CT です。頭部 CT は急性期病変の検出から慢性疾患、また、認知症の疑いでも利用できます。すべて当院の検査画像です。

2020 年 4 月稼働から 2022 年 11 月までで 767 件検査を実施、63 件の悪性疾患疑い(ガン等)を見つけています。